

議員提出第18号

吉川市の地域医療の充実に向けた対策を求める決議

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記決議書を別紙のとおり提出する。

平成26年12月12日

提出者 吉川市議会議員 加藤 克明

賛成者 吉川市議会議員 小野 潔

〃 安田 真也

吉川市議会議長 松崎 誠 様

提案理由 口頭

吉川市の地域医療の充実に向けた対策を求める決議

我が国では、少子高齢化が進む中、質の高い医療を安定的に受けられることが将来にわたる大きな課題であり、高齢者福祉や医療サービス体制の充実を求める国民の要望は極めて高くなっている。

しかしながら、医師不足やそれに伴う地域の病院の閉鎖等、地域医療を取り巻く状況は深刻化している。

埼玉県では人口10万人当たりの医師数が全国最下位であるとともに、65歳以上の高齢者人口が全国で5番目に多い上、高齢化のスピードも全国で最も早いことが指摘されている。

また特に、勤務の過酷さや訴訟リスクの高さから、産科・小児科及び救急医療における医師不足は顕著であり、診療体制の維持が困難な状況になっている。少子化や核家族化・共働き家族の増加が進む現代社会においては、誰もが安心して子供を生み育てられる環境を整備する上で産科・小児科医等の確保対策も重要な課題となる。

全国的に人口減少が進む中で、当市は極めて稀な人口増加が見込まれている都市であり、特に子育て世代を中心とする若者世代が多く見られる。今後の地域医療を鑑みると、現在の医療体制では不足が見込まれることは明らかである。

よって吉川市の地域医療の充実に向け、診療科目の偏在を無くすため、産科等をはじめとする各種医療機関の誘致に努めるとともに、適切な地域医療体制が確保できるよう求める。また、吉川市として国や県に対し医師・看護師・助産師確保対策の強化や医師養成数の増員を図ることを要望することを合わせて求めるものである。

平成26年12月12日

吉川市議会